

# 菊まつり

横手ふるさと村 ロートピア仙南  
に出かけてきました!!



さつま芋掘り

よろこびー

10月28日(月)は、お天気に恵まれ最高の行楽日和となりました。菊まつり会場には、全県の愛好家が丹精込めて育てた色とりどりの見事な菊が並び、皆さんはその素晴らしさにうっとりしていました。

受賞した菊を見ながら「やっぱりすごいな～」と会話を弾みます。

最後は、扇型につくられた菊の前で記念撮影をしましたが、菊の花に負けないくらいの素敵な笑顔でした。



ケアハウス仙南の杜では毎年「家庭菜園」を造って、「栽培・収穫・調理・食事を楽しんでいます。また、小学校・幼稚園との交流のきっかけにもなっており、まさに園芸療法といったところでしょうか。

先日も仙南児童っこクラブの皆さんに訪問していただき、さつま芋の収穫を手伝ってもらいました。子供たちの笑い声を聞きながら楽しく作業した後は皆で天ぷらにして食べました。これからもさつま芋の弦のように「長～く」お付き合いください。



広報 No.59

ロートピア緑泉  
ロートピア仙南  
グループホーム美郷

## つなげよう地域の輪 グループホーム美郷 小規模多機能 美郷 恒例の秋の食事会を開催しました



日頃よりお世話になっている近隣の方々を招待して、利用者の皆さんや職員と交流を深めました。



施設見学を行い、在宅介護のヒントや小規模多機能はどんなところのか知っていたら良い機会になりました。



今回はメニューにもひと工夫。炊き込みご飯や芋の子汁の他、この夏利用者の皆さんに大変好評だった「水ゼリーの黒蜜きな粉添え」も登場。さっぱりして美味しいと星3ついただきました!

## 「介護ミニフェスタ」

in 雁の里せんなん & アックス

ロートピアでは地域の方々に介護について知りたい方々と、毎年「介護ミニフェスタ」を開催しております。

今年は、雁の里せんなんとアックスの2か所で行い、栄養補助食品の試食や電動シニアカートの試乗、物忘れ診断や血圧測定、介護相談など多くの方々に立ち寄っていただきました。



■発行 社会福祉法人 六郷仙南福祉会 URL <http://www.rotopia.or.jp>  
特別養護老人ホーム ロートピア緑泉／秋田県仙北郡美郷町六郷字作山187番地 TEL0187-84-3636 E-mail:ryokusen@rotopia.or.jp  
特別養護老人ホーム ロートピア仙南／秋田県仙北郡美郷町金沢西根字上糠渕3-2 TEL0187-87-8010 E-mail:sennan@rotopia.or.jp  
グループホーム 美郷／秋田県仙北郡美郷町六郷字本道町57-6 TEL0187-84-2223 E-mail:misato65@rotopia.or.jp

**デイサービスセンター仙南 ハッスルデー**

週の初めに体育の日があった十月十七日、運動会から名前を変えた「ハッスルデー」を開催しました。

利用者だけではなく職員も紅組、白組に分かれて、熱戦を繰り広げました。

健闘を誓い「選手宣誓～！」

笑いあり、笑いあり、笑いあり。とても楽しいレクリエーションとなりました。

来年のハッスルデーに向けて、これからもデイサービスセンター仙南で毎日のリハビリを頑張っていきましょう。

## 健康講話 健やかに生き抜くために

～健康寿命を延ばし誇りに満ちた終末期を迎えましょう～

十月十七日、栗林外科医院院長の栗林明弘先生より十四回（最終回）の講演をしていただきました。

パン食い競争では揺れているパンに悪戦苦闘。しっかりと口でパンを食べることがでないと、周りの応援団からは歓声が巻き起こっていました。

また、ボール送りリレーは、利用者の皆さんのが乗つて操作するなど、右に行つたり左に行つたり、思い通りには後ろから介助する車いすですが、いざ自分が乗つて操作するなど、右に行つたり、左に行つたり、思い通りに動かせないようでした。

しかし、心残りがないように、楽しい事、楽しい思い出をするといふと、右に行つたり左に行つたり、思い通りには後ろから介助する車いすですが、いざ自分が乗つて操作するなど、右に行つたり、左に行つたり、思い通りに動かせないようでした。

明るく元気な栗林先生の話を聞き、私たちも元気をもらえた講演会でした！

人生一〇〇の年時代、最後はバランスのよい食事と適度な運動。身体を動かすのは仕事が一番」と栗林先生は現在仕事を楽しんでいるそうです。

健康寿命を延ばすためにはバランスのよい食事と適度な運動。身体を動かすのは仕事が一番」と栗林先生は現在仕事を楽しんでいるそうです。

### 編集後記

「南アフリカ」の優勝で幕を閉じたラグビーワールドカップ。日本も初の決勝トーナメント進出を飾り、日本中が熱狂して盛り上がった大会でした。その中で、ラガーマンのノーサイド精神に感動を覚えました。代表引退を決めていた選手を味方だけではなく対戦相手も一緒に花道を作り送り出したり、試合中に退場処分を受けた選手が、試合後に相手のロッカールームに赴き謝罪をしたり。

試合に勝つことは重要ですが、対戦相手への敬意を忘れないというスポーツmanshipが大きいと感じます。来年の東京オリンピックでも数々の感動を私たちは味わえることでしょう。（M）

## 「はなび・アム」に行ってきました

小規模多機能美郷では、昨年八月にオープンした大仙市の花火伝統文化継承資料館「はなび・アム」に出かけました。

大きなスクリーンに映し出される花火の映像は花火に包まれているかのような迫力がありました。また、影絵作家・藤城清治氏の作品「大曲の花火」のレプリカを見て、その幻想的な世界に皆さんとても感動していました。

次回は花火の模型を使った打ち上げ体験にチャレンジしたいです。